

第293号 2011年11月 1日  
弘前大学総務部総務課

学術講演会・研究発表会・公開講座

シンポジウム「東日本大震災後の青森県、岩手県の雇用・労働法政策」開催のご案内

2011年3月の東日本大震災は、東北地方に甚大な被害をもたらしました。このシンポジウムでは、東日本大震災後の青森県、岩手県の雇用、労働法政策をテーマに、今後の地域での非正規雇用から正規雇用への移行を含む働き方とその規律のあり方を検討します。

1. 日時：2011年11月 5日（土）  
15:00～18:00
2. 会場：弘前大学人文学部校舎4階多目的ホール
3. 進行：

第1部：報告（15:00～16:30）

- ・紺屋 博昭（鹿児島大学法科大学院）  
「解説・東日本大震災による労働法制への影響」
- ・金戸 伸幸（岩手県商工労働観光部雇用対策・労働室）  
「岩手のキャッシュ・フォー・ワークは半歩前へ」
- ・村井 淳（盛岡市商工観光部参事兼企業立地雇用課）  
「『住みたい人が住み続けられる街』にするために～雇用対策の課題と今後の取り組みについて～」

- ・及川 隆（盛岡市商工観光部企業立地雇用課）  
「産学官連携により雇用を創出しよう！～盛岡市における雇用の現状と対策について～」

- ・石橋 はるか（陸奥新報社編集局報道部）  
「無償労働の落とし穴」
- ・紺屋 博昭「雇用対策事業の転換可能性」

第2部：パネルディスカッション（16:40～18:00）

パネリスト：紺屋 博昭、金戸 伸幸、村井 淳、及川 隆、石橋 はるか、油川 安孝（社会保険労務士）、佐藤 俊（青森県商工労働部労政・能力開発課）、秋元 哲（弘前市商工観光部商工労政課仕事おこし・費用支援室）

パネリスト兼コーディネーター：飯 考行（弘前大学人文学部）



4. 対 象：学生・市民一般

※入場無料、事前申込不要

5. 主 催：弘前大学人文学部（平成23年度弘前大学人文学部長裁量経費「東日本大震災後の青森県のQOLと労働福祉法政策研究」）

**問い合わせ先：** 飯 考行（いい・たかゆき）  
住 所：〒036-8560 弘前市文京町1番地 弘前大学人文学部裁判法研究室  
電 話・FAX：0172-39-3958  
E-mail：[iit@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:iit@cc.hirosaki-u.ac.jp)  
URL：<http://www.saibanhou.com/sympo2011b.html>

**公開講座・津軽学「津軽と災害」開催のお知らせ**

公開講座・津軽学「津軽と災害」を開催します。この講座は、人文学部と津軽に学ぶ会の共催です。2005年より毎年開催しているものです。今年度は、震災をテーマにした公開講座です。

平日の午後でお忙しいところ、恐縮ですが、脚をお運びいただきますようお願い申し上げます。

1. 日 時：2011年11月 7日（月） 14:00～17:00
2. 会 場：弘前大学人文学部校舎4階多目的ホール
3. 内 容：公開講座・津軽学「津軽と災害～震災を生きる」

第1部：講 演

辻 誠一郎（東京大学教授）・赤坂 憲雄（学習院大学教授）

第2部：語り合い

李 永俊（弘前大学教授）・土岐 司（㈱エコ・遊代表取締役）  
・白石 睦弥（弘前大学特別研究員）

コーディネーター：作道 信介（弘前大学教授）

山下 祐介（首都大学東京准教授）

**問い合わせ先：** 作道 信介  
電 話：0172-39-3218

ぷりずむ  
電 話：017-773-3477



**「第5回 震災研究連絡会～弘前大学のネットワークで震災研究を広げよう～」開催について**

弘前大学大学院地域社会研究科では、「第5回震災研究連絡会」を下記により開催いたします。震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

当日は2つの報告の前に、震災に関する情報・意見交換を行います。情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。

1. 日 時：2011年11月 7日（月） 18：00～
2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大1F コミュニティスペース
3. 司 会：上平 好弘 弘前大学地域共同研究センター 産学官連携コーディネーター
4. 内 容：

18：00～18：45 浅利 靖 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター長  
「福島第一原子力発電所事故への医療対応」

18：45～19：30 北原 啓司 弘前大学教育学部教授・副学部長  
「被災地支援から復興計画支援へ～国はいま何をしようとしているのか～」

19：30～20：00 意見・情報交換

**問い合わせ先：** 弘前大学地域社会研究科 教授 檜 貢  
電 話：0172-39-3938  
E-mail：[himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp)

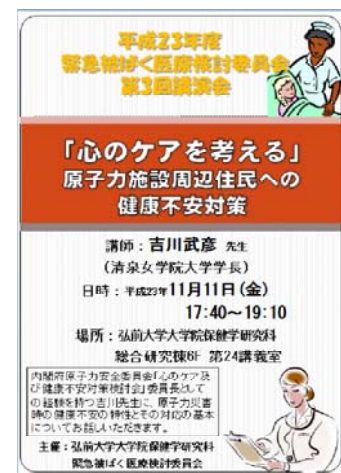
**緊急被ばく医療検討委員会 平成23年度 第3回講演会のお知らせ**

3月11日の東日本大震災に続く福島第一原子力発電所の事故から7ヵ月以上経った現在もまだ、原発の周辺に住む多くの住民が避難を余儀なくされ、不自由な環境下で生活を送っています。また避難対象外となった住民も、放射線という見えない脅威に対して不安な生活を送っています。このように原子力災害では将来的な健康不安が大きいことは容易に想像され、周辺住民の心のケアは非常に重要なものとなります。

そこで今回、原子力災害時の健康不安の特性とその対応の基本について、先のJCO事故の時に、内閣府原子力安全委員会「心のケア及び健康不安対策検討会」委員長としてご活躍された吉川氏にご講演いただきます。

多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年11月11日（金）  
17：40～19：10（質疑応答を含む）
2. 場 所：弘前大学大学院保健学研究科
3. 総合研究棟6階 第24講義室
4. テーマ：「心のケアを考える」  
原子力周辺住民への健康不安対策
5. 講 師：清泉女学院大学学長 吉川 武彦 氏
6. 主 催：弘前大学保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会



※事前のお申し込みは不要です。どなたでもご参加できます。

**問い合わせ先：** 弘前大学保健学研究科総務グループ  
電 話：0172-39-5905  
E-mail：[jm5905@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm5905@cc.hirosaki-u.ac.jp)

文部科学省科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成  
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」  
「平成23年度第5回被ばく医療プロフェッショナルセミナー」開催のお知らせ

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、国内外専門機関の放射線科学専門家を通して被ばく医療に関する国内外の動向を学ぶことを目的に、「平成23年度第5回被ばく医療プロフェッショナルセミナー」を開催します。

今回は、金沢大学・環日本海域環境研究センターより山本 政儀 教授を講師としてお招きし、1994年から実施している旧ソ連核実験場セミパラチンスク周辺での土壌等の調査・研究の概略と成果についてご紹介いただき、福島第一原子力発電所事故との比較から、環境放射能汚染や被ばく問題等についてご講演いただきます。

1. 日 時：平成23年11月11日（金）18：30～19：30
2. 会 場：弘前大学保健学研究科2階 大会議室
3. 講 師：金沢大学環日本海域環境研究センター  
低レベル放射能実験施設  
教授 山本 政儀 氏
4. 演 題：旧ソ連核実験場セミパラチンスク周辺の環境放射能汚染と  
周辺住民の被ばくについて
5. 参加料：無 料
6. その他：事前申込不要。参加を希望される方は当日直接会場にお越しください。



**問い合わせ先：** 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局  
被ばく医療総合研究所事務室  
電 話・FAX：0172-39-5401  
E-mail：[jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp)  
U R L：<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku-pro/>

弘前大学 金木農場「農場祭」のお知らせ

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターでは、地域の皆様との結びつきを深めるために「農場祭」を開催します。どうぞお気軽にご来場ください。

1. 日 時：2011年11月12日（土）  
9：30～15：00
2. 会 場：弘前大学金木農場  
五所川原市金木町芦野84-133
3. 催し物：  
○農場生産物販売コーナー（9：30～）  
金木農場と藤崎農場で丹精込めて作ったものです。  
是非、お買い求めください。



金木農場産・・・新米（つがるロマン、まっしぐら、もち米）、牛肉  
藤崎農場産・・・りんご、野菜、クルミ、ぎんなん

※何れも数に限りがございますので、売り切れの場合はご了承ください。

○販売（9：30～順次）

弘大生協コーナー・・・日本酒「弘前大学」（金木農場産酒米を使用）  
お食事コーナー、弘大グッズ等

○その他出店（9：30～順次）

金木町観光物産館「マディニー」・稲垣町「おかずや」（お惣菜など）etc

**問い合わせ先：** 弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 金木農場  
電 話：0173-53-2029  
F A X：0173-52-5137  
E-mail：[jm532029@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm532029@cc.hirosaki-u.ac.jp)

看護職者の教育力開発支援センター  
現職者支援部門主催の「患者指導スキルアップセミナー」2回目開催のお知らせ

弘前大学保健学研究科の特定プロジェクト教育研究センター「看護職者の教育力開発支援センター・現職者支援部門」では、定期的に患者指導スキルアップセミナーを開催しております。

今年度は、メインテーマ「患者指導スキル向上のためのインタープロフェッショナルワーク」と題して、患者のためのチーム医療をめざして、各職種の立場から患者（利用者）指導に関わる実践報告を3回計画しております。

10月の理学療法士に引き続いて、2回目は歯科衛生士の立場から指導に係わる実践報告を予定しています。また、当センター・研究開発部門のこれまで研究成果発表も併せて行います。社会資源を活用した効果的な患者指導、院内外における患者指導システムの構築に向けた学びの機会したいと思います。

1. 日 時：2011年11月18日（金） 18：00～19：30
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科2階 地域看護学実習室
3. 講 師：弘前大学医学部附属病院 歯科口腔外科 歯科衛生士 須郷 亜須香 氏  
歯科衛生士 佐々木千香子 氏
4. 参加費：無 料
5. その他：事前申し込みが必要です（締切：11月14日）。
6. 申込先：下記問い合わせ先までお申し込みください。

**問い合わせ先：** 弘前大学大学院保健学研究科 會津 桂子  
F A X：0172-39-5940  
E-mail：[aizu@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:aizu@cc.hirosaki-u.ac.jp)

国立大学法人弘前大学主催音楽会 弘前大学フィルハーモニー管弦楽団演奏会  
—八戸地域弘前大学同窓会創立10周年記念公演—のお知らせ

本演奏会は、平成15年から弘前大学の文化活動を地域の皆様にお知らせすると共に、地域の皆様と弘前大学の学術文化交流の一環として開催しております。

今年は八戸市で開催することになりました。また、この演奏会によって、八戸地域の皆様と弘前大学の交流を一層深めることも目的としております。

1. 日 時：2011年11月23日（水・祝） 13：00開場／13：30開演

2. 場 所：八戸市公会堂（〒031-0075 八戸市内丸一丁目1-1）  
電 話：0178-44-7171  
FAX：0178-44-7176

3. 指 揮：安達 弘潮（弘前大学名誉教授）

4. 演 奏：弘前大学フィルハーモニー管弦楽団

5. 入場料：有 料（小学生・中学生・高校生：500円  
大学生・一般：1000円）

6. 主 催：国立大学法人弘前大学

7. 共 催：八戸地域弘前大学同窓会

8. 後 援：青森県、青森県教育委員会、八戸市、八戸市教育委員会、東奥日報社、  
デーリー東北新聞社、NHK青森放送局、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、エフエム青森、  
八戸テレビ放送、コミュニティラジオ局BeFM



**問い合わせ先：** 国立大学法人弘前大学  
総務部総務課総務・秘書グループ 川村  
電 話：0172-39-3013  
FAX：0172-37-6594

平成23年度 弘前大学研究成果公開シンポジウム開催のお知らせ

弘前大学では、東日本大震災の復興に向けた原子力災害に対するこれまでの活動と今後の新エネルギー・環境研究への取組について、本学の研究活動に御理解を深めていただき、さらなる発展・充実を図るため、研究内容・成果を分かりやすく発信するシンポジウムを東京と弘前において開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

【第1回〔東京会場〕】

1. 日 時：2011年11月26日（土）  
13：15～16：30

2. 会 場：東京コンファレンスセンター・品川5階大ホールA  
（東京都港区港南1-9-36 アレア品川）

3. 対 象：一般、研究者、企業関係者等

4. 参加費：無 料

5. 定員：150名程度

6. プログラム：

13：15～13：30 開会挨拶 遠藤 正彦（弘前大学長）

<第1部>原子力災害に対するこれまでの取組と今後の展開

13：30～13：55 「被ばく医療人材育成の取組」  
大学院保健学研究科長 對馬 均

13：55～14：20 「被ばく医療に関する取組」  
大学院医学研究科長、被ばく医療総合研究所長 佐藤 敬

14：20～14：45 「放射性物質による環境への影響とその対策」  
被ばく医療総合研究所 教授 山田 正俊

14：45～15：10 「放射線科学研究による東日本大震災復興への貢献」  
大学院保健学研究科 教授 柏倉 幾郎

(15：10～15：25 休憩)

<第2部>新エネルギー・環境研究への取組

15：25～15：45  
「東日本大震災を踏まえた長期的地震防災力向上プロジェクト」  
大学院理工学研究科 准教授 小菅 正裕

15：45～16：05  
「青森発東日本大震災復興地熱研究プロジェクトの展開」  
北日本新エネルギー研究所 教授 村岡 洋文

16：05～16：25  
「世界自然遺産白神山地の学術的活用の試み」  
白神自然環境研究所長 佐々木 長市

16：25～16：30 閉会挨拶 加藤 陽治（研究・産学連携担当理事・副学長）

【第2回 [弘前会場]】

1. 日 時：2011年12月 9日（金） 13：15～16：30

2. 会 場：ベストウェスタンホテルニューシティ弘前 3階 エメラルド  
（青森県弘前市大町1-1-2）

3. 対 象：一般、研究者、企業関係者等

4. 参加費：無 料

5. 定員：150名程度



## 6. プログラム

13:15～13:30 開会挨拶 遠藤 正彦（弘前大学長）

<第1部>原子力災害に対するこれまでの取組と今後の展開

13:30～13:55 「被ばく医療人材育成の取組」

大学院保健学研究科長 對馬 均

13:55～14:20 「被ばく医療に関する取組」

医学部附属病院高度救命救急センター長 浅利 靖

14:20～14:45 「放射性物質による環境への影響とその対策」

被ばく医療総合研究所 教授 吉田 光明

14:45～15:10 「放射線科学研究による東日本大震災復興への貢献」

大学院保健学研究科 教授 柏倉 幾郎

（15:10～15:25 休憩）

<第2部>新エネルギー・環境研究への取組

15:25～15:45 「東日本大震災を踏まえた長期的地震防災力向上プロジェクト」

大学院理工学研究科 教授 有賀 義明

15:45～16:05 「地域エネルギーセキュリティ確保に向けたバイオマス燃料電池システムの開発」 北日本新エネルギー研究所 教授 阿布里提

16:05～16:25 「世界自然遺産白神山地の学術的活用の試み」

白神自然環境研究所長 佐々木 長市

16:25～16:30 閉会挨拶 加藤 陽治（研究・産学連携担当理事・副学長）

【お申し込み・お問い合わせ先】

<申込方法>

○下記アドレスより申込用紙をダウンロードの上、FAXまたはメールにてお申込みください。

<http://www.rprc.hirosaki-u.ac.jp/sympo/231126/index.html>

弘前大学学術情報部研究推進課

電話：0172-39-3909

FAX：0172-39-3919

E-mail：[sympo@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:sympo@cc.hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学東京事務所

電話：03-5201-7004

FAX：03-3271-2121

東京都中央区八重洲2丁目2番1号 住友生命八重洲ビル5階 青森県東京ビジネスプラザ内



平成23年度がんプロフェッショナル養成プラン活動  
『医学物理士養成のための講演会』のお知らせ

1. 日 時：2011年11月30日（水） 17:00～18:00
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科 大会議室（A棟2階）
3. 講 師：首都大学東京大学院 教授  
日本医学物理士会 会長 福士 政広先生
4. 演 題：「求められる医学物理士像」
5. 対 象：学生、大学院生、教職員等
6. 参加料：無 料

※事前申込みは不要です。

参加を希望される方は直接会場へお越し下さい。  
専門分野外の皆さんもこの機会にぜひご参加下さい。  
多数のご参加をお待ちしております。



問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 柏倉 幾郎  
電 話：0172-39-5938  
E-mail：[ikashi@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:ikashi@cc.hirosaki-u.ac.jp)

「新しいフッ素系高分子界面活性剤の開発に関する講演」のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2011年11月22日（火） 15:30～17:00
2. 場 所：弘前大学理工学研究科1号館2階大会議室
3. 講 師：Georgi Kostov 教授  
Department of Organic Chemical Technologies,  
Faculty of Technical Sciences,  
Prof. Dr. Asen Zlatarov University,  
Bulgaria
4. 講演内容：テロメル化反応を巧みに利用した新しいタイプのフッ素系高分子界面活性剤の合成とその機能発現に関する研究に関して、講師の方の研究成果を中心に講演していただきます。

問い合わせ先： 弘前大学理工学研究科 澤田 英夫  
電 話：0172-39-3578  
E-mail：[hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp)

第5回 弘大病院がん診療市民公開講座のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2011年11月23日（水・祝）  
13:00～15:30
2. 会 場：弘前大学医学部コミュニケーションセンター  
2階大会議室
3. 内 容：

弘前大学医学部附属病院の専門医による最新の放射線治療と、  
がん経験者による体験談を患者・家族それぞれの立場から、  
市民の皆様にはわかりやすく講演いたします。

講演後に質疑応答の時間を設けております。

4. プログラム：

- 演題1 「最新の放射線治療」（60分程度）  
講 師 弘前大学医学部附属病院放射線科教授 高井 良尋
- 演題2 「最愛の妻を亡くして」（30分程度）  
講 師 乳がん患者会ほほえみネットワーク副会長 今 薫
- 演題3 「乳がんを経験して」（30分程度）  
講 師 乳がん患者会ほほえみネットワーク会長 赤石 敏子
- 質疑応答（20分程度）

5. 対 象：一般市民（事前の申込みは不要です。）
6. 入場料：無 料（病院駐車場をご利用ください。受付にて無料券を配布いたします。）
7. 主 催：弘前大学医学部附属病院腫瘍センター
8. 共 催：北東北がんプロフェッショナル養成プラン

**問い合わせ先：** 弘前大学医学部附属病院腫瘍センター がん診療相談支援室  
電 話：0172-39-5174



## 学 内 掲 示 板

「教職員のための制度・手続き情報ナビ」ウェブサイト公開のお知らせ  
(全ての教職員を対象とした情報ナビです)

男女共同参画推進室では、教職員の仕事と家庭の調和  
(ワーク・ライフ・バランス) を推進しています。

教職員の誰もが働きやすく、仕事と家庭の調和がとれる仕組みづくりのため、休暇や育児に関する制度等をわかりやすくした「教職員のための制度・手続き情報ナビ」(通称「情報ナビ」)をウェブサイトで公開することとしました。

この「情報ナビ」には、子育てや介護の休暇、結婚したときに関する制度・手続きなどの学内情報はじめ、青森県、弘前市や周辺地域における子育て利用制度なども掲載しています。

開設は11月中旬を予定しています。情報ナビの開設にご期待ください。

ホームページ：つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才

URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/tsuga-ru/index.html>

**問い合わせ先：** 弘前大学男女共同参画推進室 コーディネーター 山本 幸子  
電 話：2886 (内線)  
E-mail：[equality@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:equality@cc.hirosaki-u.ac.jp)



### 弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

**問い合わせ先：** 弘前大学出版会 (附属図書館内)  
電 話：0172-39-3168  
FAX：0172-39-3171  
E-mail：[hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp)

### 国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学会が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

[http://www.janu.jp/active/7janu\\_quarterly\\_report.html](http://www.janu.jp/active/7janu_quarterly_report.html)

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：[jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp)、Fax:37-6594、内線：3012